



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 株式会社プロシップ 上場取引所 東
 コード番号 3763 URL <https://www.proship.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 法弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 早川 潔 TEL 050-1791-3000
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,870	3.3	1,112	△27.8	1,294	△18.1	901	△18.8
2022年3月期第3四半期	4,714	46.0	1,540	65.4	1,579	64.7	1,110	69.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 888百万円 (△20.6%) 2022年3月期第3四半期 1,119百万円 (64.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	65.09	64.65
2022年3月期第3四半期	72.07	71.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,230	6,267	73.8
2022年3月期	13,532	11,336	82.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 6,075百万円 2022年3月期 11,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	△1.3	1,600	△27.5	1,810	△20.3	1,260	△20.8	93.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	15,605,800株	2022年3月期	15,502,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,300,081株	2022年3月期	2,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	13,843,927株	2022年3月期3Q	15,403,115株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. 補足情報	9
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和等により経済活動の持ち直しの動きが見られたものの、円安や資源価格の高騰による物価上昇など、依然として先行不透明な状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の企業でIT投資を控える動きがありましたが、企業による働き方改革や海外グループ会社を含めたガバナンス強化等を背景として、IT投資は堅調に推移いたしました。

このような状況下で当社グループは、主力である固定資産管理ソリューションにおいて、既存顧客に対する当社新製品へのバージョンアップ対応、インフラ業界における案件推進等、上場大企業や中堅企業の業務効率化、経営管理強化等に資するソリューションを展開し、顧客のシステム投資需要に応じてまいりました。これらの成果により売上高は順調に増加いたしました。成長戦略と位置付けているインフラ業界向けの案件推進等において売上原価が増加し、研究開発活動の活発化や本社移転関連費用の発生等に伴い販売費及び一般管理費が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高4,870百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業利益1,112百万円(同27.8%減)、経常利益1,294百万円(同18.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益901百万円(同18.8%減)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

① パッケージソリューション事業

主力の固定資産ソリューションにおきましては、既存顧客に対する当社新製品へのバージョンアップ対応、インフラ業界における案件推進等を行いました。これらの成果により売上高は順調に増加いたしました。成長戦略と位置付けているインフラ業界向けの案件推進等において売上原価が増加し、研究開発活動の活発化や本社移転関連費用の発生等に伴い販売費及び一般管理費が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,805百万円(前年同四半期比4.3%増)、営業利益は1,088百万円(同27.9%減)となりました。

② その他事業

その他事業におきましては、主に連結子会社である株式会社プロシップフロンティアで行っており、既存顧客の受託開発や運用管理等の対応を行いました。なお、主力であるパッケージソリューション事業へ注力するため、前期にその他事業の一部を譲渡しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は84百万円(前年同四半期比30.8%減)、営業利益は20百万円(同27.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,529百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,269百万円減少いたしました。これは主に、自己株式の取得等に伴い現金及び預金が5,588百万円減少したことによるものであります。また固定資産は1,701百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。

この結果、総資産は8,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,301百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,512百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が429百万円減少し、契約負債が256百万円増加したことによるものであります。また固定負債は450百万円となりました。

この結果、負債合計は1,963百万円となり、前連結会計年度末に比べ233百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、6,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,068百万円減少いたしました。これは主に自己株式が、その取得に伴い5,326百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は73.8%(前連結会計年度末は82.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では、前連結会計年度末時点で見込んでいる当連結会計年度の売上計上予定の案件を商談進捗別に集計・精査して売上高見込とし、予定している投資や過年度の費用発生の推移等から当連結会計年度の費用額を見込むことで連結業績予想を作成しております。

パッケージソリューション事業において、下期における受注獲得が当初予想よりも後ろ倒しになったことから、売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

また、売上高の減少及びインフラ業界向けの案件推進等における売上原価の増加に伴う売上総利益の減少により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想を下回る見込みとなりました。

以上のことから、2022年5月9日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を下記の通り下方修正いたします。

なお、2023年3月期の配当予想につきましては、変更ありません。

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,000	百万円 2,280	百万円 2,310	百万円 1,600	円 銭 103.22
今回修正予想(B)	6,600	1,600	1,810	1,260	93.58
増減額(B-A)	△400	△680	△500	△340	—
増減率(%)	△5.7	△29.8	△21.6	△21.3	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	6,689	2,205	2,271	1,591	103.20

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,271,528	4,682,981
売掛金及び契約資産	1,326,597	1,552,584
仕掛品	121,780	167,787
貯蔵品	584	664
その他	79,043	125,731
流動資産合計	11,799,535	6,529,749
固定資産		
有形固定資産	37,821	74,729
無形固定資産		
ソフトウェア	220,980	206,742
その他	1,067	1,067
無形固定資産合計	222,048	207,810
投資その他の資産		
投資有価証券	1,069,576	1,063,428
その他	404,504	355,787
貸倒引当金	△552	△552
投資その他の資産合計	1,473,528	1,418,664
固定資産合計	1,733,398	1,701,204
資産合計	13,532,933	8,230,953

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,000	212,080
契約負債	608,046	864,108
未払法人税等	477,500	47,513
賞与引当金	62,565	124,916
役員賞与引当金	37,000	35,300
受注損失引当金	22,623	7,268
その他	318,121	221,290
流動負債合計	1,757,857	1,512,478
固定負債		
役員退職慰労引当金	109,200	109,200
退職給付に係る負債	329,290	341,614
固定負債合計	438,490	450,814
負債合計	2,196,347	1,963,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,953	716,084
資本剰余金	642,512	709,642
利益剰余金	9,827,165	9,953,169
自己株式	△1,747	△5,328,017
株主資本合計	11,116,884	6,050,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,399	24,129
その他の包括利益累計額合計	36,399	24,129
新株予約権	183,302	192,651
純資産合計	11,336,586	6,267,660
負債純資産合計	13,532,933	8,230,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,714,039	4,870,946
売上原価	2,216,115	2,545,365
売上総利益	2,497,923	2,325,581
販売費及び一般管理費	956,957	1,213,458
営業利益	1,540,965	1,112,122
営業外収益		
受取利息	20,182	24,853
受取配当金	4,251	130,425
為替差益	2,490	3,999
投資有価証券売却益	—	15,455
その他	11,869	7,452
営業外収益合計	38,794	182,187
経常利益	1,579,759	1,294,310
特別利益		
新株予約権戻入益	7,625	40,177
事業分離における移転利益	39,978	—
特別利益合計	47,604	40,177
税金等調整前四半期純利益	1,627,364	1,334,488
法人税等	517,237	433,447
四半期純利益	1,110,126	901,040
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,110,126	901,040

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,110,126	901,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,005	△12,270
その他の包括利益合計	9,005	△12,270
四半期包括利益	1,119,132	888,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,119,132	888,770

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,298,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,326,270千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が5,328,017千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	3,117,965	0.5	1,912,149	△20.8
保守	1,211,097	10.6	1,906,394	△6.5
受託開発	—	△100.0	—	—
運用管理等	62,529	8.8	33,528	△11.3
合計	4,391,591	3.2	3,852,071	△14.2

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る受注も含んでおります。

3. 運用管理等には商品受注を含んでおります。

②販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	
	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
パッケージ	3,342,240	2.2
保守	1,463,319	9.3
受託開発	50	△99.8
運用管理等	65,336	△23.0
合計	4,870,946	3.3

(注) 1. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る売上も含んでおります。

2. 運用管理等には商品売上を含んでおります。